

市産玉ねぎ、人気上昇中!



加東市産の玉ねぎが、各所で人気を呼んでいます。

農産物直売所などで個人販売し、人気を呼んでいた市内産の玉ねぎを、さらに有名にし、ブランド化しようと、生産農家のみなさんでつくるJAみのり玉葱部会（堀内実会長）が一致団結。各所で営業を重ねた結果、大丸神戸店などでの販売にこぎつけました。安全でおいしい加東の玉ねぎは、ライバルの多い大型店舗でも評判を呼び、好調な売れ行きだったとのこと。

営業にあたった同部会の藤本善仁さん（牧野）は「加東の玉ねぎには、淡路に負けないほどの特産品になってほしいと思います。来年の販売も決まっているので、これからもいい玉ねぎを育てたいです」と意欲を燃やしていました。

卓越の救助技術 次代につなぐ



8月24日に松山市で開催された第45回全国消防救助技術大会に、加東消防署から澁谷真一さん・宇仁肇さんの2人が、2年連続で出場しました。

2人が出場したのは、昨年と同じロープ応用登はん種目です。結果は、昨年の全国8位に及ばない21位(49チーム中)だったものの、宇仁さんは「2年連続で県と近畿を勝ち上がったことは、大きな誇りになります」と、澁谷さんは「後輩にもこの経験を伝えていこうと思います」と話していました。

今後は競技に出場せず、後輩を指導するという2人に、加東消防署の中川聡救助隊長は「北はりま消防本部と加東消防署が、全国大会常連となれるよう、後輩たちを導いてやってほしい」と期待を込めていました。

8月24日に松山市で開催された第45回全国消防救助技術大会に、加東消防署から澁谷真一さん・宇仁肇さんの2人が、2年連続で出場しました。

星座を題材に 新ロゴ完成



老朽化していた社中央公園ステラパーク・ステージの改修が完了しました。改修の作業にあたってくれたのは、神戸電子専門学校（神戸市）・グラフィックデザイン学科のみなさん。施工業者さんからの『学生さんに研修の機会を与えてみてはどうか』との提案により、現場での作業と、ロゴマークの考案を担っていただきました。

『ステラ』が恒星を意味することや、12星座のモニュメントがあることなど、星・星座との関わりが深いステラパーク。新ロゴも、占星術などで星座が持つ4つの性質とされている『風』『火』『水』『土』を図案化したものとなっています。

近くにお立ち寄りの際は、綺麗になったステラパークのステージと、ロゴマークをぜひご覧ください。

まちがどトピックス

身近な話題など、お気軽にご連絡ください。
広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387

おめでとうございます



国土交通大臣感謝状（道路の環境美化活動）
加東市花と緑の協会東条支部

ありがとうございます



国際ソロプチミスト北播磨のみなさんから、ケアホームかとうに、デジタルカメラと車いす用点滴スタンドを寄贈いただきました。

誇りを胸に 全国優勝を狙う



神戸弘陵学園高校2年の上月翔聖さん（梶原）が、10月1日から岩手県で開催される第71回国民体育大会・サッカー少年男子の部に、兵庫県代表として出場します。

上月さんは「代表として、兵庫県の誇りを持って戦い、全国優勝したいと思います」と話していました。

大会での活躍を、心から応援しています。

ポイント&KO 四国選抜 松山白鷺ライオンズ 少年少女空手道選手権大会



全選手とも拳武会館所属・来春の全日本大会出場権獲得。

小学2年女子の部
優勝 百田万穂
準優勝 佐々木蓮
小学3年女子の部
準優勝 松本峯空
小学3年男子の部
第3位 別府俊宜
小学4年女子の部
優勝 長井麗央奈
小学4年男子の部
準優勝 千原誠也

東播小学生バレーボールクラス別大会（兼第40回近畿小学生バレーボール大会東播予選）



優勝（近畿大会出場）
社ジュニアバレーボールクラブ

往く夏を踊って送る



8月27日、社中央公園ステラパークで、恒例の『加東市夏のおどり』を開催しました。会場には、3,000人を超える人々がお越しになり、かとうよしよし音頭・炭鉱節・河内音頭などで、過ぎ行く夏に別れを告げました。

利用者の安全を守るために



9月13日、わかあゆ園で、不審者の侵入を想定した防犯訓練を実施しました。

訓練は、

加東警察署のみなさんの協力により、犯人への対応・取り押さえ方のほか、刺叉の取り扱い・護身術を指導いただきました。

今後とも、各公共施設で防犯訓練を繰り返し実施し、みなさまに安心して利用いただけるよう努めます。

日本酒女子会 大盛況



8月21日と28日の2日間、下滝野にある神結酒造株式会社で、まちの拠点づくりコンソーシアム主催『晩酌女子のたしなみ』が開催されました。日本酒に興味のある女性を対象に、市特産の山田錦と、山田錦で造られた日本酒のすばらしさを広めるために開催したこのイベント。当初、21日のみの開催としていましたが、応募が殺到し、すぐに定員に達してしまっただけで、急きょ28日にも開催することとなったもので、山田錦と日本酒の人気の高さとともに、女性日本酒ファンの増加が顕著に表れました。

イベント後も、意気投合した参加者同士が日本酒を飲みに行く姿が見られるなど、山田錦と日本酒の良さ、さらには、楽しく飲むことの良さが広まる催しとなりました。